

テクニック 7 読み手に「先入観」を持たせる副詞(句)

Jay didn't pass the exam.

Jay は試験に合格しなかった。

→ **Unfortunately**, Jay didn't pass the exam.

残念ながら、Jay は試験に合格しなかった。

もとの文はココがイマイチ

このワザでこう解決!

- | | |
|--|---|
| 1 「Jay という人物が試験に合格しなかった」という事実を述べるにとどまっている。 | unfortunately と切り出すことによって、悪い知らせであることを前もって読み手に予想させることができる。 |
| 2 Jay の不合格について書き手がどう感じているかは全く明らかにならない。 | unfortunately から、書き手が残念ながら思っていることが伝わる。 |

STEP 1 適切な場所に副詞(句)を挿入して、ニュアンスの違いを確かめよう!

- 1 Jean didn't show up on time.
(Jean は時間通りに現れなかった→ predictably [予期した通りに] を挿入)
- 2 The capitalist system is far from perfect.
(資本主義システムは完璧からはほど遠い→ admittedly [一般に認められているように] を挿入)
- 3 There is a video rental store near my house that carries many independent films.
(インディー系の映画を多数揃えたビデオレンタル店が私の家の近くにある→ luckily [ありがたいことに] を挿入)
- 4 The suspect killed seventeen people and buried them deep in the forest.
(その容疑者は 17 人の人を殺し、森の奥深くに埋めた→ allegedly [申し立てによると] を挿入)
- 5 Over two-thirds of Japanese teenage girls say they have suffered some form of sexual harassment.
(日本の十代女性の三分の二以上が、何らかの形のセクシャルハラスメントを被ったことがあるという→ reportedly [伝えられるところによれば] を挿入)

目標 副詞(句)を挿入して、読み手がこちらの言いたいことを予想できるようにしよう!

「残念ながら」と来れば、悪いニュースが後に続くことは誰にでも見当がつくもの。これだけで、ぐっと誤解の余地が減るのです。先入観を与えることによって相手に一定の方向づけをするというこのような「仕掛け」は、日本語ならば日常的にやっているはず。英語でも同じようにやってみましょう!

手順はこれだけ!

Jay didn't pass the exam.



伝えたいムードを決め、ふさわしい副詞を挿入する。
基本的には文頭に挿入するが、場合によってはコンマではさんで文中に挿入したり、文末に添えたりする。
副詞一語ではなく副詞句を挿入することもある (STEP 2 の 2、3 を参照)。



Unfortunately, Jay didn't pass the exam.

STEP 1 解答

- 1 Predictably, Jean didn't show up on time.
(予期した通り、Jean は時間通りに現れなかった)
- 2 Admittedly, the capitalist system is far from perfect.
(一般に認められているように、資本主義システムは完璧からはほど遠い)
- 3 Luckily, there is a video rental store near my house that carries many independent films.
(ありがたいことに、インディー系の映画を多数揃えたビデオレンタル店が私の家の近くにある)
- 4 Allegedly, the suspect killed seventeen people and buried them deep in the forest.
(申し立てによると、その容疑者は 17 人の人を殺し、森の奥深くに埋めたとされている)
- 5 Reportedly, over two-thirds of Japanese teenage girls say they have suffered some form of sexual harassment.
(伝えられるところによれば、日本の十代女性の三分の二以上が、何らかの形のセクシャルハラスメントを被ったことがあるという)

テクニック **1** 思う・考える

It might rain tomorrow.

明日、雨がふるかもしれない。

→ I suspect it might rain tomorrow.

明日、雨がふるかもしれないと思います。

もとの文はココがイマイチ

このワザでこう解決！

1 「明日、雨がふるかもしれない」と状況を一般的に記述しているにすぎない。

I suspect を挿入することによって、「雨が降るかもしれない」というのはあくまでも個人的な判断であって客観的な事実ではないという、よりやわらかいニュアンスが加わる。

STEP 1 「思う・考える」を使って文を書き換え、ニュアンスの違いを確認しよう！

- 1 The prime suspect is actually not guilty.
(本当のところ第一容疑者は有罪ではない→ I think を使って書き換え)
- 2 Communism is not really dead.
(共産主義は本当には死んでいない→ I wonder if を使って書き換え)
- 3 Dirk won't come with us on our trip to Chicago.
(Dirk は私たちのシカゴ旅行について来ないだろう→ I don't know if を使って書き換え)
- 4 The so-called anti-terrorist war will last forever.
(いわゆる反テロ戦争は永遠に続くだろう→ I'm afraid を使って書き換え)
- 5 The Japanese government can't continue issuing such a large number of national loan bonds.
(日本政府はこれほど大量の国債を発行し続けることはできない→ I doubt if を使って書き換え)

目標 「あくまでも自分の意見ですが…」と言えるようになるろう！

断定を避けるための基本中の基本がこれ。「～と私は思う・考える」と付け加えるだけで、「これはあくまでも自分の意見です」という態度を表明できるようになります。ただし、日本人ははっきりと断定すべき場面でもつい“I think”と言ってしまう傾向がありますので、使い分けには十分にご注意を。むしろ、八割方の場面では“I think”を言わない方向で。残りの二割がこの表現の出番です。

手順はこれだけ！

It might rain tomorrow.



「～は思う・考える」という主語と動詞の組み合わせを基本的には文頭に挿入する（この場合は「多分～ではないかと思う」という感じを出すために“I suspect”を選択）。



I suspect it might rain tomorrow.

STEP 1 解答

- 1 I think the prime suspect is actually not guilty.
(本当のところ第一容疑者は有罪ではないと私は思う)
- 2 I wonder if communism is really dead.
(共産主義は本当に死んだのだろうかと思う)
- 3 I don't know if Dirk will come with us on our trip to Chicago.
(Dirk が私たちのシカゴ旅行について来るか、私には分からない)
- 4 I'm afraid the so-called anti-terrorist war will last forever.
(残念ながら、いわゆる反テロ戦争は永遠に続くだろうと私は思う)
- 5 I doubt if the Japanese government can continue issuing such a large number of national loan bonds.
(日本政府がこれほど大量の国債を発行し続けることができるかどうか疑わしいと私は思う)